

ナンバーワンの教育環境を目指して！

かみしほろ学園構想検討委員会 の検討状況報告 ④

「かみしほろ学園構想」の内容を決定し、報告書を提出！

かみしほろ学園構想検討委員会は、2月9日に第5回目となる会議を開催し、「かみしほろ学園構想」の議論を取りまとめ、関根秀実委員長から馬場久男教育長に報告書を提出しました。

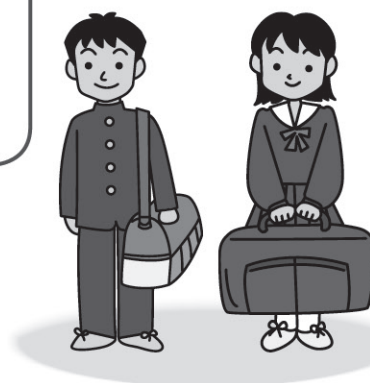
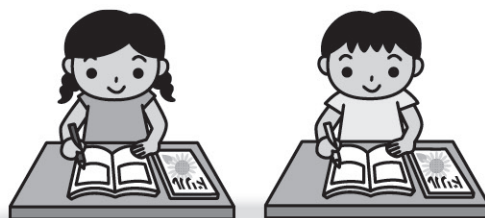


「かみしほろ学園構想」の2つの基本方針

①幼児から高校生までの一貫性のある教育づくり

幼児から高校生まで、次の3つの視点をもって連携を創造します。

- ・人権教育～「思いやりの心」「奉仕の精神」を育む
- ・環境教育～「資源の大切さを知る」「自然を守る心」の育成
- ・地域社会の活性化～「地域への関心」「地域と連携した取組」の推進



②地域総ぐるみで子どもの育ちに関わる仕組みづくり

「コミュニティ・スクール制度」の活用を中心に、子どもたちの育ちに大人も関わりながら、大人も子どもも学び合える仕組みを目指します。

これからの動き

かみしほろ学園構想検討委員会からの報告を受け、2月12日より、教育委員会会議による協議・検討に入りました。この後は、3月上旬に予定されているこの構想の決定に向け、細部の調整を行っていく予定となっています。



お問い合わせは、教育委員会生涯学習課生涯学習・社会教育担当(☎2-3024)まで

これから進める具体的な施策

①幼児から高校生までのつながりをつくる方法

◆ユネスコスクール指定への取り組み

認定こども園、各小学校、中学校がそれぞれ行っている「人権教育」「環境教育」「地域社会の活性化」に関する学びを系統的に整理し、それぞれの学校の情報を持ち寄って共有します。

そして、現在上士幌高校が指定を受けている「ユネスコスクール」への指定を、認定こども園から中学校まで拡大することを目指します。

◆共通教材の導入と活用

「目標に向かって努力できる力」「スケジュールを管理できる力」「感情をコントロールできる力」「経験を活用できる力」などの『自己管理能力』を高めるための共通教材を導入します。

認定こども園ではシール帳を、小学校では中学年まではノートを、高学年から中学校までは手帳を本町独自に開発し、導入します。併せて、特別支援教育に関する経過を一冊にまとめ、関係機関との情報共有をスムーズにする「サポートブック」も導入します。

◆学習成果の実感化に向けた取り組み

学習意欲の喚起や、学ぶ意味を確認することは非常に重要です。そこで、小学生から中学生まで、漢字検定、算数・数学検定、英語検定などの各種検定の受験を積極的に斡旋奨励し、受験料は町が負担します。

ユネスコスクールとは

地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指して活動する学校のことです。ユネスコスクールでは、私たちとその子孫たちが、この地球で生きていくことを困難にするような問題について考え、立ち向かい、解決するための学びを推進します。

これを「持続可能な開発のための教育」(英語を略して「ESD」と呼びます)と呼び、将来、持続可能な社会の担い手を育む教育です。



※「ユネスコスクール」ホームページより

◆課外活動の充実と連携

少年団活動や中学校・高校の部活動が連携協力していくため、そのニーズの調整や具体的な取り組みを議論できる仕組みをつくります。特に、少年団や部活動がどのように連携していくのかという視点と、少年団同士、各部活動と各課外活動団体もっている共通の課題をどのように解決していくのかという2つの視点をもって議論を進めることを重視していきます。

②地域総ぐるみで子どもの育ちに関わる仕組みづくり

◆コミュニティ・スクール制度の活用

コミュニティ・スクール制度は、町民のみなさんの意見を学校運営に活かしていこうという取り組みです。学校と町民のみなさんが熟議を重ねながら、子どもにとってより良い取り組みを進めていきます。

あわせて上士幌町では、学校で大人も子どもも学び合う仕組みを作ります。そのため、学校に町民の方の交流の場となる「(仮称)CSサロン」の開発を目指します。また、町民が学校の活動に関わっていくため「(仮称)ゆめ育(you make)応援団」の結成を目指します。

コミュニティ・スクール

熟議

各学校運営協議会
熟議で町民の意見を学校運営へ

実践

you make
ゆめ育 応援団
子どもと直接関わり自分の得意を活かす

◆社会教育による地域教育の推進

今後、社会教育においては、本町の自然環境を活かした体験活動、農業教育の一層の推進、生活体験の推進、他市町村との交流体験の創出、の4点を重点的に推進します。そのためにも、社会教育委員の会議を活性化し、町民のみなさんとの協働による体験活動を推進します。